

社会（歴史的分野）の観点

1. 新しい学習指導要領への対応

(1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業展開がしやすく、言語活動や体験活動を取り入れた学習活動が充実できるよう、工夫されているか。

(2) 学習基盤の育成及び教科等横断的な視点

言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を教科等横断的な視点に基づいて育まれるよう工夫されているか。

(3) 教科の目標への適合

学習指導要領社会科の目標や歴史的分野の目標に照らし、内容が適切に取り上げられているか。

【歴史的分野の目標】

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

2. 内容について

(1) 県の教育施策への適合

県教育振興基本計画に照らし、内容が適切に取り上げられているか。

(2) 生徒への適合

・内容が系統的・発展的に配列されているか。

・生徒の発達の段階に応じた活字の大きさ・文字数・文章表現等がなされ、文章が平易で理解されやすく、記述の分量は適切であるか。

(3) 地域性への適合

話題や題材が地域性を考慮した内容の広がりをもったものであるか。

(4) 補充的・発展的な学習

個々の生徒の理解に応じ、きめ細かな指導ができるよう配慮されているか。

3. 造本等

(1) 印刷・製本

活字・写真・図表等の印刷が鮮明で、表紙・装丁・紙質がよく、製本がしっかりしているか。

(2) 扱いやすさ

判型、厚さ、重量等、生徒が学習する上で、扱いやすいように配慮されているか。

	発行者	225 自由社
書名	中学社会 新しい歴史教科書	
新しい学習指導要領への対応	<p>(1) 「学習課題」に対して、本文中の「チャレンジ」で主体的な学習が、章末の「時代の特徴を考えるページ」で言語活動が取り入れられ、「主体的・対話的で深い学び」の実現が図られている。</p> <p>(2) 章始めに小学校学習の確認、章末に「調べ学習のページ」「復習学習のページ」が配置され、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を育むように工夫されている。</p> <p>(3) 社会科の目標に即して、歴史的な見方・考え方を巻頭と序章で示し、「外の目から見た日本」や「人物コラム」等を設けて構造化、焦点化を図り、国際協調の精神や公正に選択・判断する力が養われるよう内容を適切に取り上げている。</p>	
内容	<p>(1) 学習課題の提示と充実した資料によって課題解決学習ができるように工夫し、基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成ができるように配慮されている。</p> <p>(2) 歴史的な事象を系統的に配列し、各章の「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」では、学習内容を整理し、表現力を養えるよう発展的な学びがしやすい。発達段階に配慮したルビが用いられ、記述の分量は適切である。</p> <p>(3) 章で学ぶ内容と関わりのある地域を調べてまとめた内容を例示し、身近な地域の調査と関連付けている。</p> <p>(4) 各章の最後に調べ学習のテーマや復習問題が用意されている。時代の特徴を自分の言葉でまとめるページが設定されている。</p>	
造本	<p>(1) 活字・写真・さし絵・図表の印刷は鮮明、紙質や製本も適切である。</p> <p>(2) A B判で重量、厚さが適切で、扱いやすい。</p>	